

11月 展覧会&催し物

市民文化会館

☎35-3111、FAX35-3112

休 7日、14日、21日、28日

会場	期日	催し物	時間	入場	問合せ
ホール	6日(日)	令和4年度文化の日記念「文化振興事業」 第17回WAKU和久DOKI土器オカリナーナコンサート	13:30~16:00 (13:00開場)	入場無料	わくどきオカリナーナコンサート ☎42-2051(神谷)
	13日(日)	令和4年度文化の日記念「文化振興事業」 創作舞台芸能部発表会	13:00~15:00 (12:30開場)	入場無料	常滑市文化協会事務局 ☎35-2920
	19日(土)	令和4年度文化の日記念「文化振興事業」 第38回文協映画祭「お終活」	①11:00~12:40 (10:30開場) ②15:00~16:40 (14:30開場)	要整理券	常滑市文化協会事務局 ☎35-2920
	23日(祝)	なかむらあけみ 中村朱美氏講演会 みんなに必要な新しい働き方 ~仕組みで人を幸せに~	14:00~16:00 (13:20開場)	関係者のみ	商工会議所 青年部事務局 ☎34-3200
	26日(土)	令和4年度文化の日記念「文化振興事業」 Dance Studio JOJO 第3回発表会	15:00~17:00 (14:30開場)	入場料1,000円	Dance Studio JOJO ☎090-1413-0690(古賀)
	27日(日)	令和4年度文化の日記念「文化振興事業」 第44回 常滑市民吹奏楽団定期演奏会	14:00~16:00 (13:30開場)	入場無料	常滑市民吹奏楽団 ☎35-7326(稲葉)
展示室	1日(火) ~13日(日)	常滑市シルバー人材センター筆耕クラブ 書道作品展示	9:00~21:00 (初日は10:00~) (最終日は~15:00)	あなたのギャラリー	常滑市シルバー人材センター 筆耕クラブ ☎34-5596(松下)
	18日(金) ~20日(日)	令和4年度文化の日記念「文化振興事業」 「花と書と陶・今日の美術」合同展	10:00~17:00 (最終日は~16:00) ※呈茶会は19日(土)	ホールロビー 第1・2展示室 あなたのギャラリー	常滑市文化協会事務局 ☎35-2920
	22日(火) ~12月4日(日)	青松会(日本画・水彩画・パステル画)	9:00~21:30 (初日は10:00~) (最終日は~15:30)	あなたのギャラリー	青松会 ☎42-5594(小澤)

※第2練習室を学習室として利用できます。

(5日(土)はお休み、3日(祝)、4日(金)、6日(日)は視聴覚室をご利用ください)

※令和5年9月のホール使用申請は、11月1日(火) 9:30に受付開始

とこなめ陶の森

☎34-5290、FAX34-6979 休 7日、14日、21日、28日

資料館	3日(祝)~12月11日(日) 国指定重要文化財「仏涅槃図」展	9:00~17:00 無料
陶芸研究所	~12月27日(火) 陶芸研究所 研究企画展 「現代の急須~4年後の魅力~」	9:00~17:00 無料

公民館ギャラリー

休 7日、14日、21日、28日

青海	9日(水)~20日(日) 書を楽しむ会展 ~思いを筆にたくして~作品発表	9:00~21:30 無料 (初日は11:30~) (最終日は~11:30)
----	-----------------------------------------	----------------------------------------------

小ギャラリーとこなめ(陶磁器会館内)

☎35-2033、FAX 35-7473 休 年末年始

10日(木)~15日(火)	おこだかま 乙田薫 作品展	9:00~17:30 無料
24日(木)~12月6日(火)	あおき かくどう 青木一童 展 #33	9:00~17:30 無料

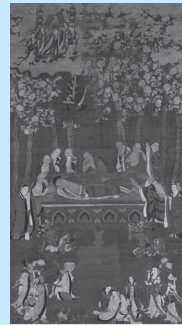
ギャラリーcera(観光プラザ内)

☎34-8888、FAX 34-8880 休 年末年始

~7日(月)	ひらの まさし 平野政志 陶展	9:00~17:00 無料
11日(金)~21日(月)	しばた まさあき 柴田正明 陶展「平面と立体の仕事」	9:00~17:00 無料
25日(金)~12月5日(月)	すぎえ あけみ 杉江明美 布展	9:00~17:00 無料

とこなめ陶の森

とこなめ陶の森 資料館 企画展
国指定重要文化財「仏涅槃図」展
3日(祝)~12月11日(日)



国指定重要文化財「仏涅槃図」は大野佐治氏にゆかりのある金蓮寺に伝わったものです。仏涅槃図とは、沙羅双樹の下で、釈迦が80歳の生涯を終えて入涅槃するようすをあらわしています。

本図は、「明州江下周四郎筆」とあり、12世紀末の中国南宋時代前期、周四郎なる仏画師によって制作されたものと考えられます。現存する仏涅槃図のなかでも最古級のものであり、国指定重要文化財に指定されています。

問合せ 資料館

☎34-5290、FAX34-6979